



富士のさと SDG s ACTION

私たちは、「国立中央青少年交流の家SDG s 宣言」の達成のため、以下の開発目標を重点に掲げ、取り組みます。



目標4 質の高い教育をみんなに

- 青少年を対象に、青少年の課題や国の政策課題に対応した事業を実施します。
- 青少年教育施設や青少年教育団体等の指導者を対象とした研修や教職員の研修等の事業を実施します。
- 青少年の体験活動や基本的な生活習慣等の重要性の普及・啓発に努めます。
- 安全で安心な施設の整備・管理に努め、長く青少年に活用される施設づくりに努めます。



目標13 気候変動に具体的な対策を

- 職員が率先して省エネに努めつつ、利用される方々への省エネの啓発に努めます。
- 環境への影響を考慮した物品の調達、照明のLED化など、省エネに配慮した施設運営に努めます。



目標15 陸の豊かさを守ろう

- 世界文化遺産「富士山」の保全に協力するとともに、トレッキング等の体験活動プログラムを通じて、自然の偉大さ、大切さについての学習の機会を提供します。
- 構内の自然環境の保全と環境学習の推進に努めます。



目標16 平和と公正をすべての人に

- 青少年の国際交流と異文化理解の促進に努めます。
- 透明性を確保し説明責任を果たす、誠実な管理運営に努めます。



目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

- 青少年教育団体・NPO・企業・自治体等、多様なステークホルダーとのパートナーシップを築き、施設の運営や事業の企画・実施を行います。
- 関係機関と連携してSDG s ACTIONに取り組むとともに、職員一人ひとりが、アクションを私ごとと捉え、「MY ACTION」に取り組めます。

